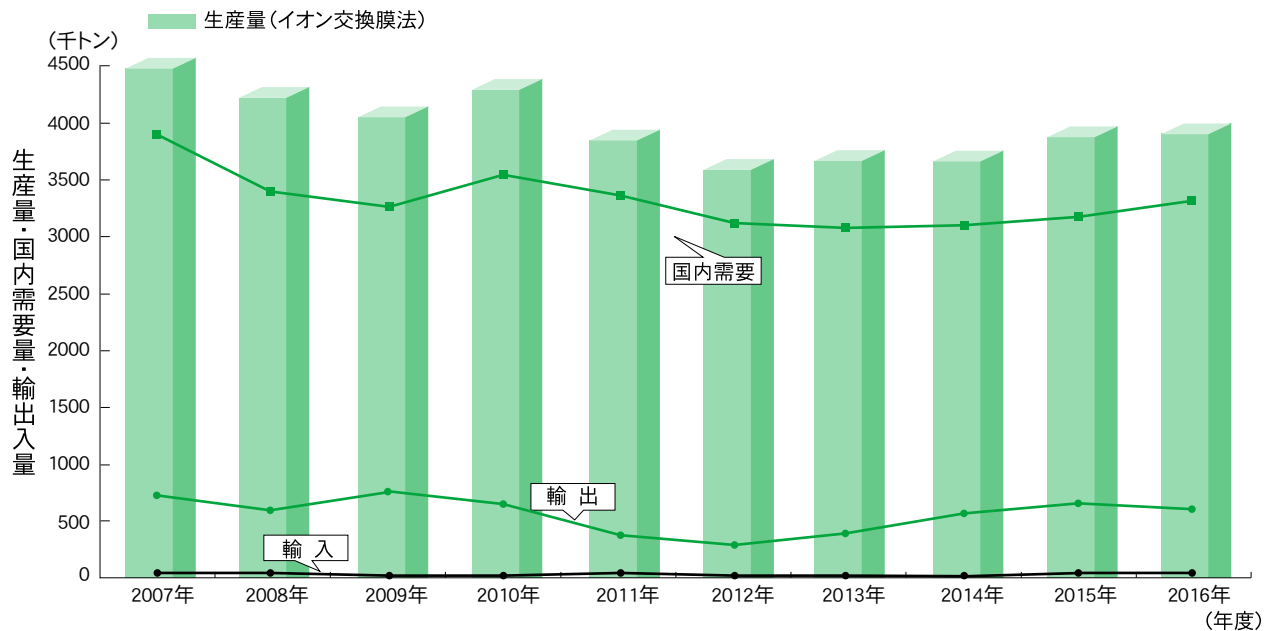


# カセイソーダの需給推移



(単位：トン／97%換算)

年度	生産	輸入	供給計	需要			在庫
				内需	輸出	計	
2007年	4,487,328	13,335	4,500,663	3,861,857	693,332	4,555,189	126,169
2008年	4,128,774	20,383	4,149,157	3,485,747	629,803	4,115,550	159,778
2009年	4,040,101	12,373	4,052,474	3,339,902	737,852	4,077,754	134,501
2010年	4,199,390	17,747	4,217,137	3,581,600	641,855	4,223,455	128,196
2011年	3,818,601	24,317	3,842,918	3,413,184	427,952	3,841,136	129,888
2012年	3,570,871	16,460	3,587,331	3,193,355	397,230	3,590,585	126,646
2013年	3,666,017	15,632	3,681,649	3,179,518	469,479	3,648,997	159,301
2014年	3,662,549	13,666	3,676,215	3,199,026	518,984	3,718,010	117,499
2015年	3,848,984	12,190	3,861,174	3,241,836	645,674	3,887,510	91,164
2016年	3,867,733	11,896	3,879,629	3,305,488	533,737	3,839,225	131,554

注1) 輸入量は財務省貿易統計をベースにして算出しているが、一部推定の部分がある。

注2) 内需は輸入を含む。

カセイソーダは基礎素材製品であり、需要分野が非常に広いので、その需給動向は国内景気に大きく左右されます。

2016年度のカセイソーダの生産量は前述の通り、3,868千トンとなりました。2000年以降は全てイオン交換膜法による生産となっています。

国内需要は、対前年度比+2.0%の3,305千トンとなりましたが、輸出は同-17.3%の534千トンとなりました。

このため、需要合計は輸出の減少が内需の増加を上回ったため、同-1.2%の3,839千トンとなりました。